

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物損傷事故）

事故概要:

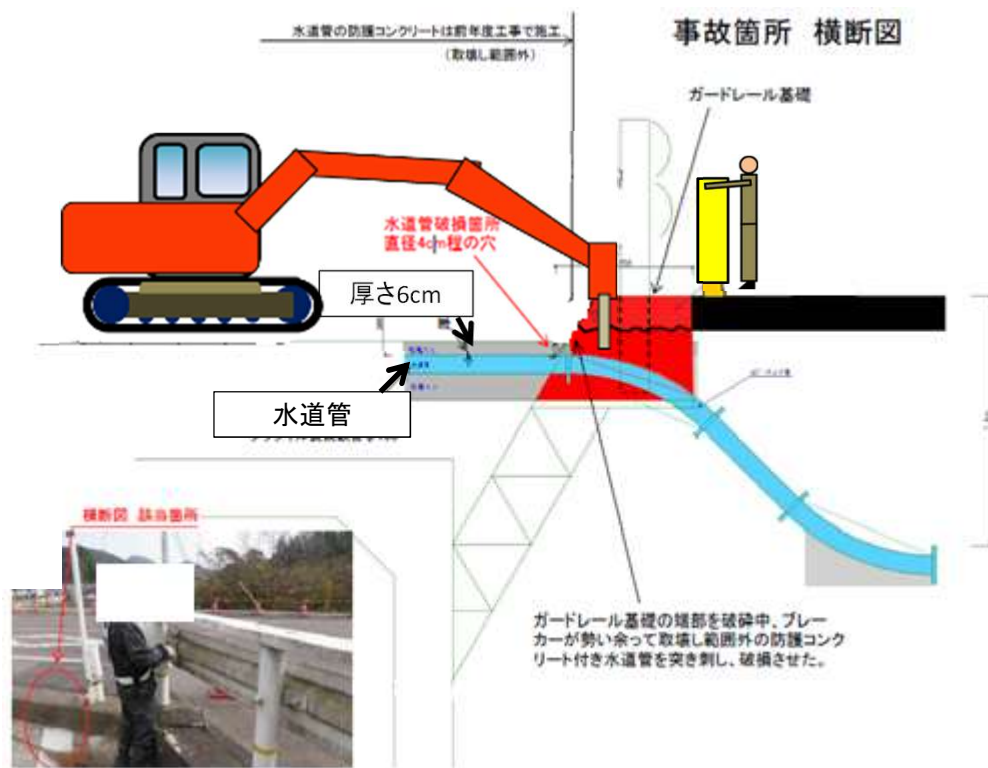
コンクリートブレーカー付きバックホウにてガードレール基礎を取り壊し中、ブレーカーが勢い余って露出していた上水道本管を防護コンクリートの上から突き破り、損傷させた。

事故原因:

防護コンクリートに覆われた水道管が施工範囲内にあるにもかかわらず、防護措置を取らなかった

改善対策:

防護措置(敷き鉄板等による養生)を行う



分類: 取壊工、ブレーカー掘削

被害状況: 17世帯約4時間断水。

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

事故概要:

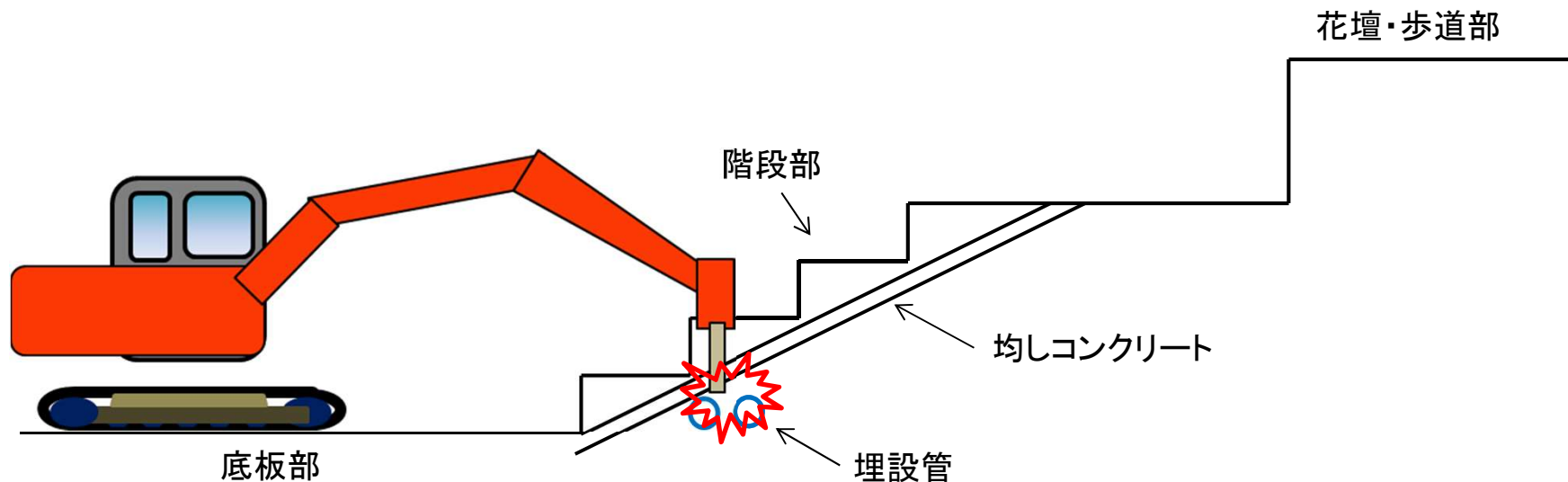
池を取り壊し、コンクリート殻をバックホウを使用して集積する作業中、管理者より電話回線が不通になっているという通報を受け、急ぎよ取壊した範囲を調査したところ、取壊したコンクリート殻の下から切断された電線2本を発見した

事故原因:

- ・管理図面に明記されている電線を見落としていた
- ・現地調査を怠った

改善対策:

- ・チェック体制の強化
- ・安全対策の徹底



分類: 取壊工、ブレーカー掘削

被害状況: 2軒の電話回線が3時間半不通

平成28年度に建設工事で発生した事故事例（飛来物・落下物 による事故）

【事故概要】

片側交互通行で交通解放して、既設雪崩防止柵の基礎コンクリートをブレーカで取り壊していたところ、飛散したコンクリート片が通行車両に当たり、損傷させた。

【事故原因】

- ・飛散防止対策を怠った(柵等)
- ・通行車両の有無を確認しなかった

【改善対策】

- ・飛散防止対策として柵等を設置する
- ・監視員を配置し、通行車両が有る場合は作業を中断する



【分類】 取壊工、ブレーカ掘削

【被害状況】 通行車両に傷

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

【事故概要】

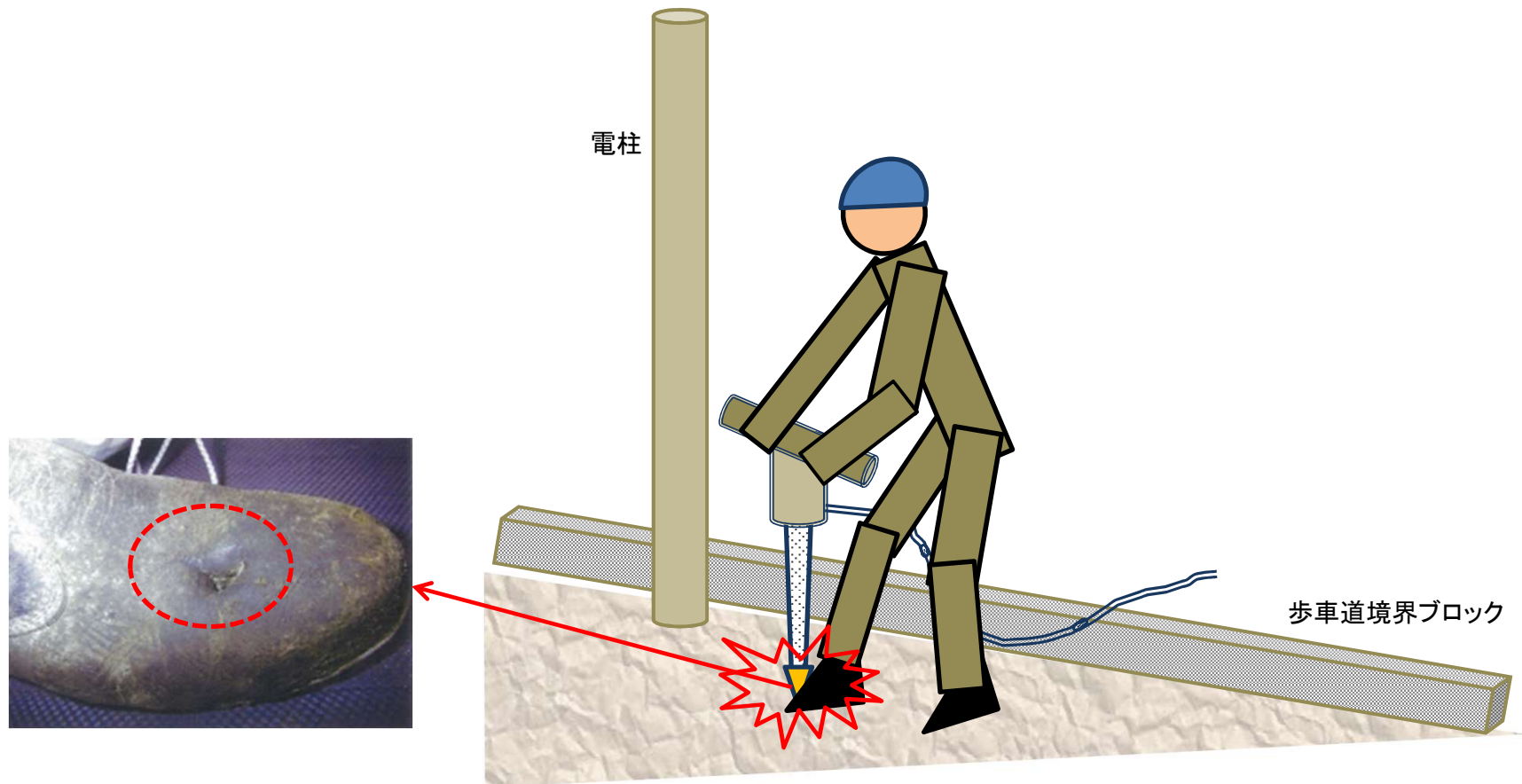
歩道・乗入部の舗装補修工事において、電柱周りの既設舗装を撤去するため、ブレーカーでハツリ作業を行っていたところ、誤って作業員本人の右足中指付け根付近に、ブレーカーの先端を落とし負傷した。

【事故原因】

- ・慣れからくる雑な取扱いになっていた
- ・本人の不注意により手元が狂い操作を誤った

【改善対策】

- ・安定した姿勢で研り作業を行うよう徹底する
- ・研り機のノミ先を研り箇所固定した後、操作するよう徹底する



【分類】 取壊工、ブレーカ掘削

【被害状況】 右第3趾基節骨開放骨折(全治約6週間)

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物事故）

【事故概要】

道路維持修繕業務において、道路路肩に設置されている花壇を補修するため、既設花壇内のコンクリートをブレーカーで取壊した際に、コンクリート直下の埋設管を破損させた。そのため、温泉が断水した。

【事故原因】

・受注者は、花壇下の埋設管の存在について、全く想定しておらず、事前の調査、事故対策を怠った

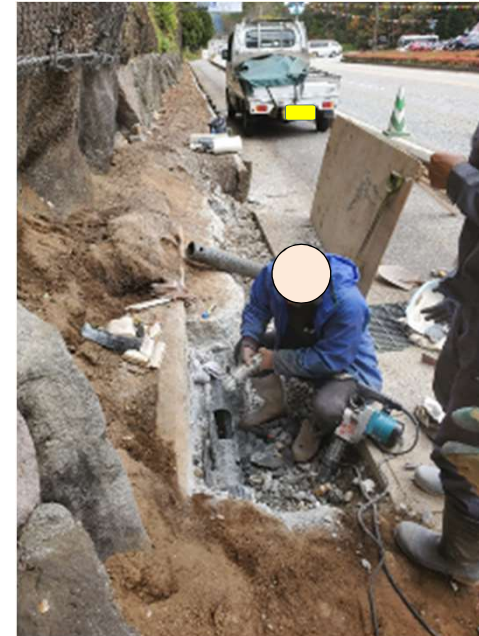
【改善対策】

・掘削作業を行う場合は、事前に埋設物の調査を行う。
・埋設物が確認された場合は、「地下埋設物の事故防止マニュアル」に基づき、埋設物管理者立会いのもと試掘を行い、埋設位置を確認する。

事故現場状況図



コンクリート下のごく浅いところに温泉管が設置されていた。



【分類】取壊し工、ブレーカー掘削

【被害状況】公衆災害(公衆物損) 温泉管(径165)破損 断水時間4hr (断水による被害無し)

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（飛来物・落下物事故）

【事故概要】

コンクリート構造物を小割機付きバックホウ(0.7m³)で小割作業を行っていたところ破片が飛び、施工区域に隣接する屋外トイレ窓ガラス1枚を破損させた。

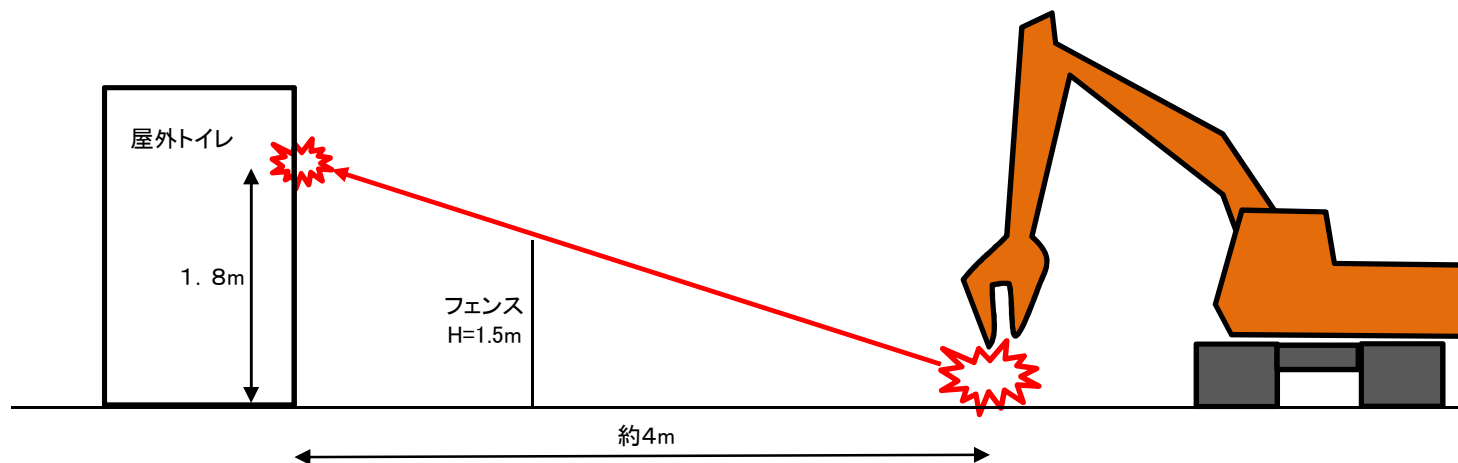
【事故原因】

・作業による破片の飛散状況を安易に捉え、飛散防止対策を行わず作業を行ったため。

【改善対策】

・一定の距離をとり地面より低い位置で作業する。
・小割機からブレーカーに変更するとともにその刃先の周囲には飛散防止用のカバーを取り付ける。
・屋外トイレと施工区域との間に高さ3mのメッシュシートを設置する。

事故現場状況



【分類】 取り壊し工 小割機

【被害状況】 公衆物損 トイレ窓破損

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物事故）

【事故概要】

護岸改修工事において、コンクリートブレーカーを用い、既設プレハブ水路の取り壊しを行ったところ、プレハブ水路の直下に埋設されていた農業用水管を破損した。

【事故原因】

着工時の打ち合わせで、管があることは認識していたが、管理者の立ち合いなしに作業を行ったこと、管の構造や深さについての確認が不十分で、慎重さを欠いた作業を行った。

【改善対策】

埋設物付近での施工を行う際には、事前に発注者及び埋設物の管理者に埋設物の構造や深さ、施工方法を確認するとともに、施工時には埋設物の管理者に立ち合いを求める。

事故現場状況



【分類】 取り壊し工 ブレーカー掘削

【被害状況】 公衆物損 農業用水管破損

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材事故）

【事故概要】

既設モルタル取壊し作業中、エアーブレーカーを移動するため一度置いた際に、先端(ノミ)がモルタル上を滑り咄嗟にレバーを握ったことから、ブレーカーが作動した状態で右足に落下し、右足親指つけ根を負傷した。

【事故原因】

・ブレーカーの作動レバーに触れたまま移動したため、ブレーカーのノミ先が滑ったことで、咄嗟にレバーを握ってしまったことが原因。

【改善対策】

- ・作業開始前に足元を確認し、不安定な体勢を取らない、無理な移動はしないよう徹底する。
- ・ブレーカーの傍にバルブを設置し、いつでもエアーを止められるようにする。
- ・移動する際はエアーを止め、レバーを持たずにブレーカー本体の真ん中を持つよう徹底する。
- ・安全靴の隙間をなくすため、甲ガードを使用し作業するよう徹底する。
- ・作業員にKY内容を復唱させ徹底する。

事故現場状況



改善対策

エアバルブ設置



甲ガード使用



【分類】 取壊工 ブレーカー掘削

【被害状況】 業者人身 27歳 右足刺傷